

令和6年度 厚生労働省科学研究費補助金「医療観察法における退院後支援に資する研究」
分担研究「医療観察法に必要な人材育成に関する研究」
医療観察法医療に関わる支援者向け研修動画

入院処遇における治療プログラムについて

北海道大学病院附属 司法精神医療センター
賀古 勇輝

入院処遇ガイドラインにおける治療プログラム

3. 治療プログラム

- 1) 多職種チームによる個別の治療計画の策定と実施
- 2) 精神疾患に係る薬物療法
- 3) 外出・外泊等

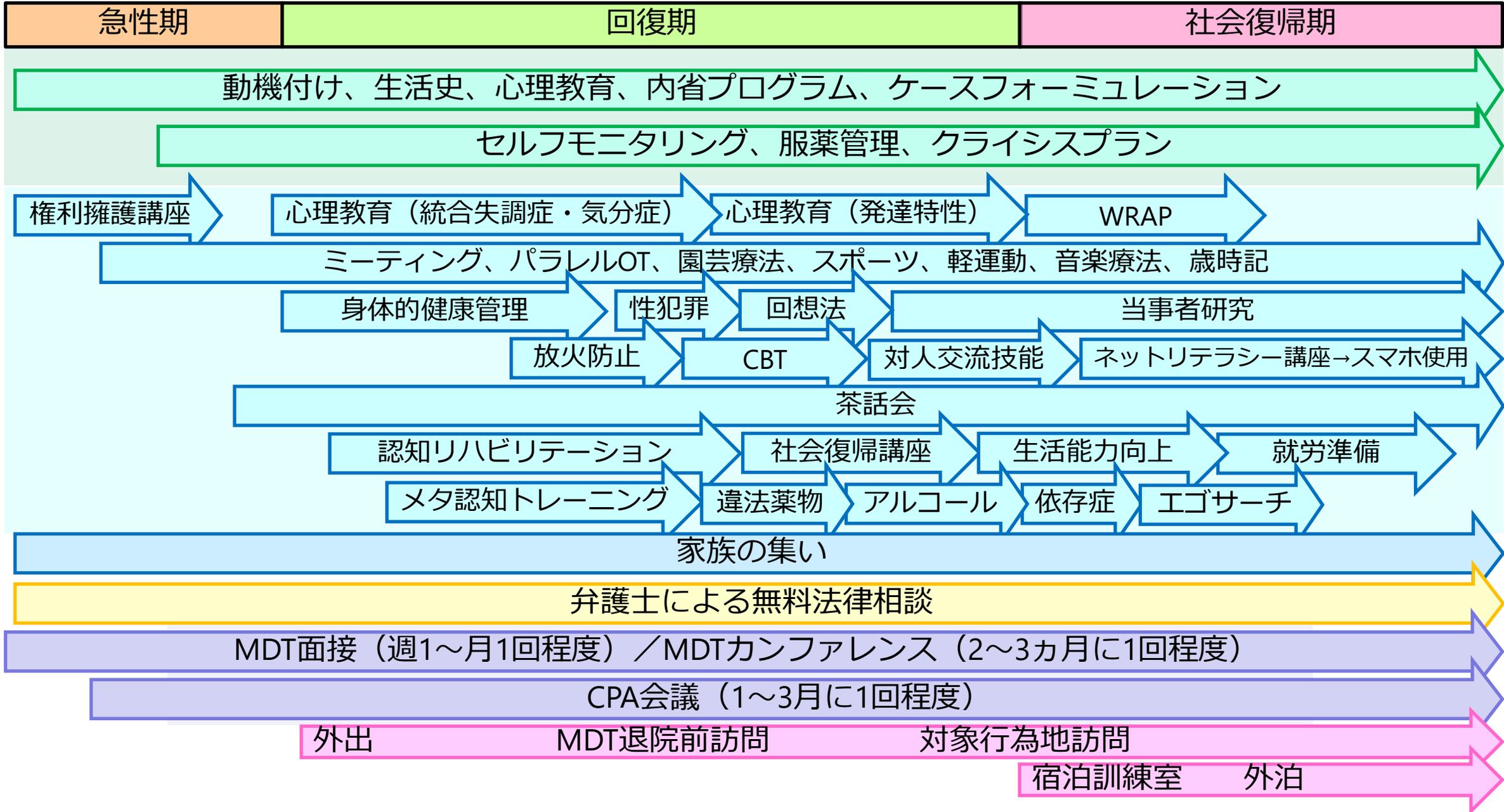
- ◆ 「1週間の治療プログラムのイメージ」の一覧表に記載されているプログラム
 - スポーツ、リラクゼーション、ボディワーク
 - 音楽鑑賞、芸術療法、映画鑑賞、自己活動
 - 急性期OT、パラレルOT、職業準備訓練、生活技術講座、就労準備講座
 - ミーティング（各ステージ、全体）
 - 権利擁護・関連法規講座、社会復帰講座、教養講座、医学講座、健康教育
 - 服薬心理教育、服薬自己管理講座、本人・家族教室、心理教育
 - 支持的精神療法、認知行動療法、再構成的精神療法、心理検査
 - 院内散歩、院内外出、院外外出、外泊

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接

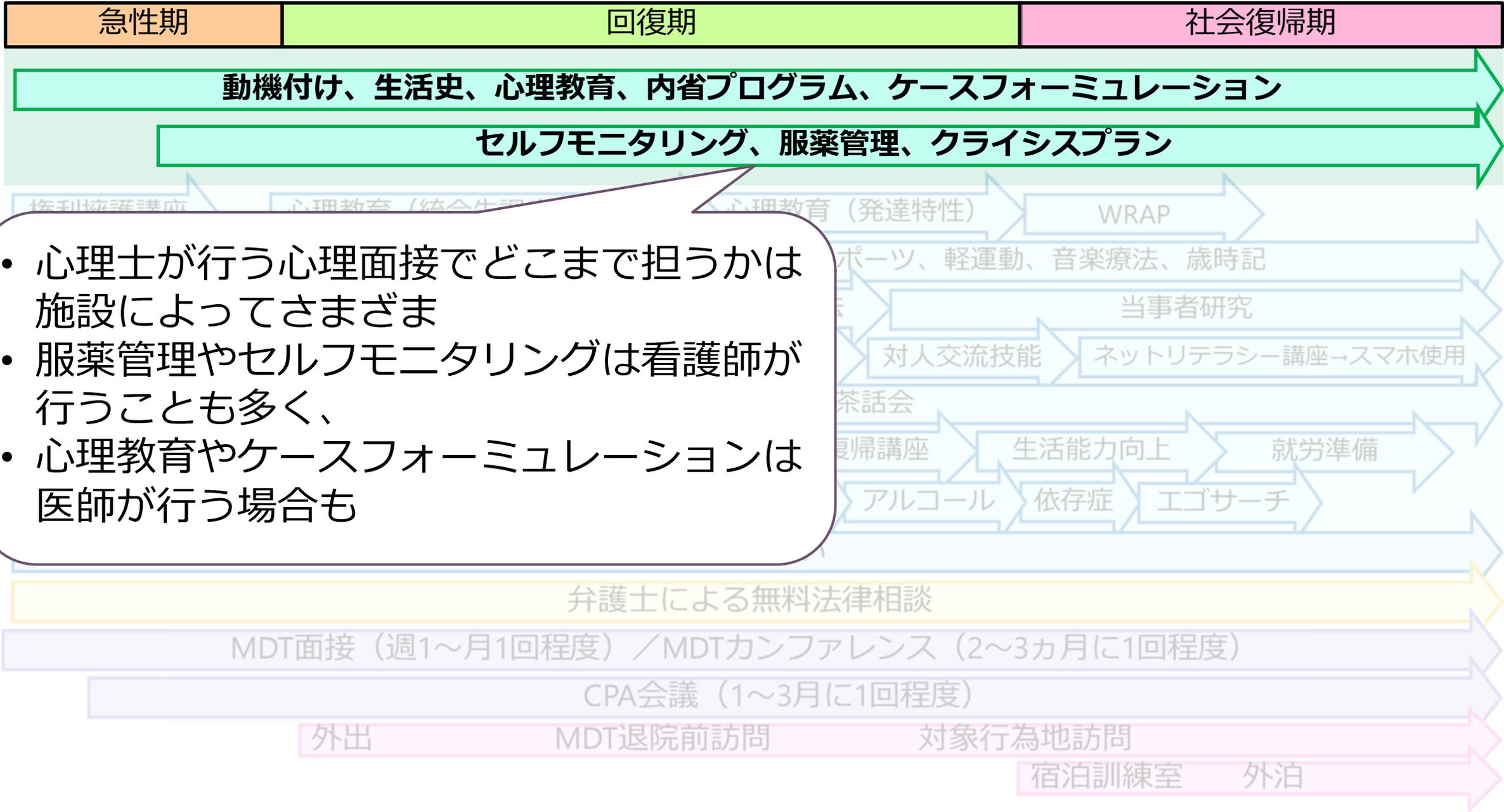
治療プログラム



入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接

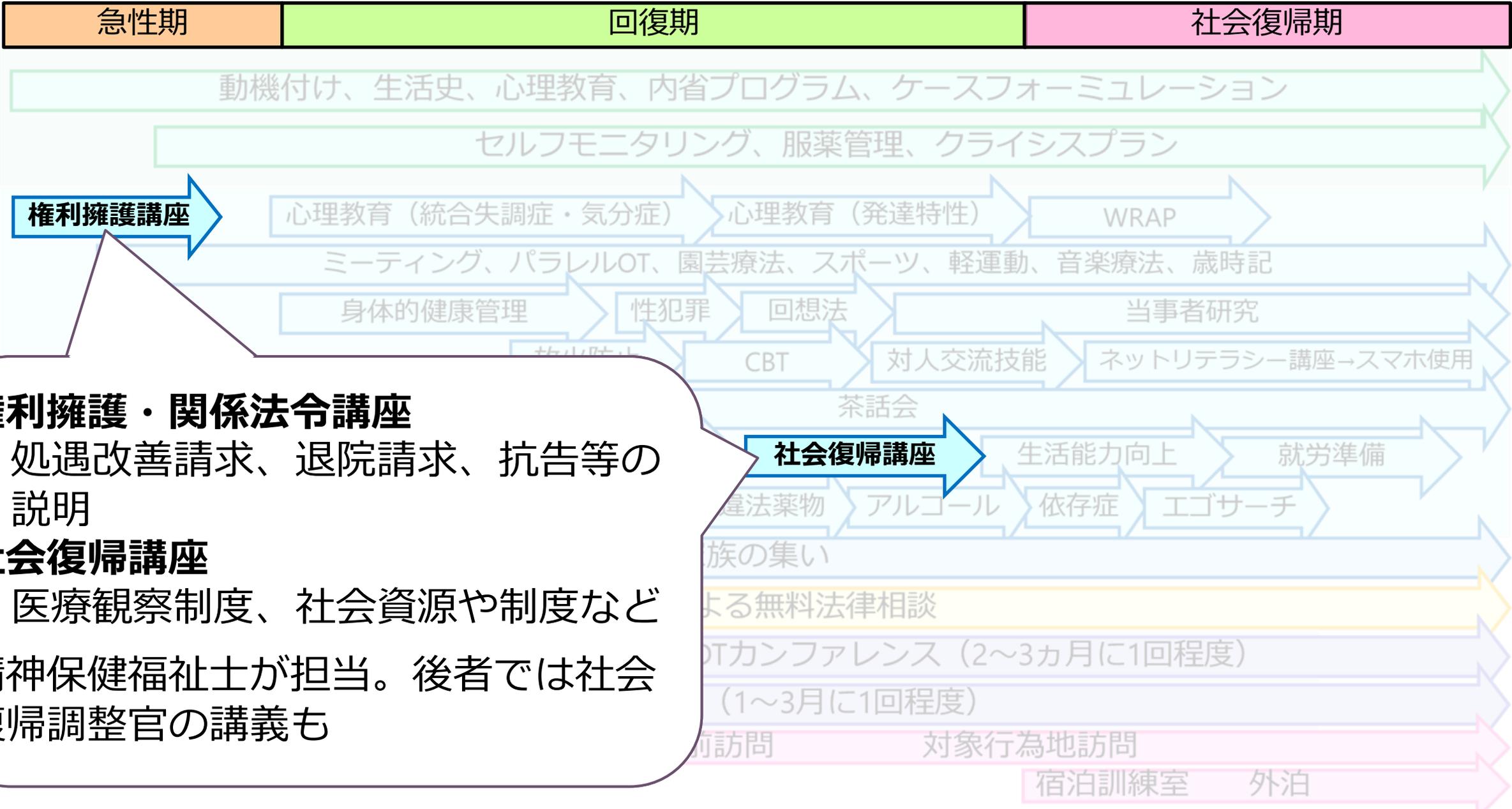


- 心理士が行う心理面接でどこまで担うかは施設によってさまざま
- 服薬管理やセルフモニタリングは看護師が行うことも多く、
- 心理教育やケースフォーミュレーションは医師が行う場合も

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接
治療プログラム



権利擁護・関係法令講座

- 処遇改善請求、退院請求、抗告等の説明

社会復帰講座

- 医療観察制度、社会資源や制度など精神保健福祉士が担当。後者では社会復帰調整官の講義も

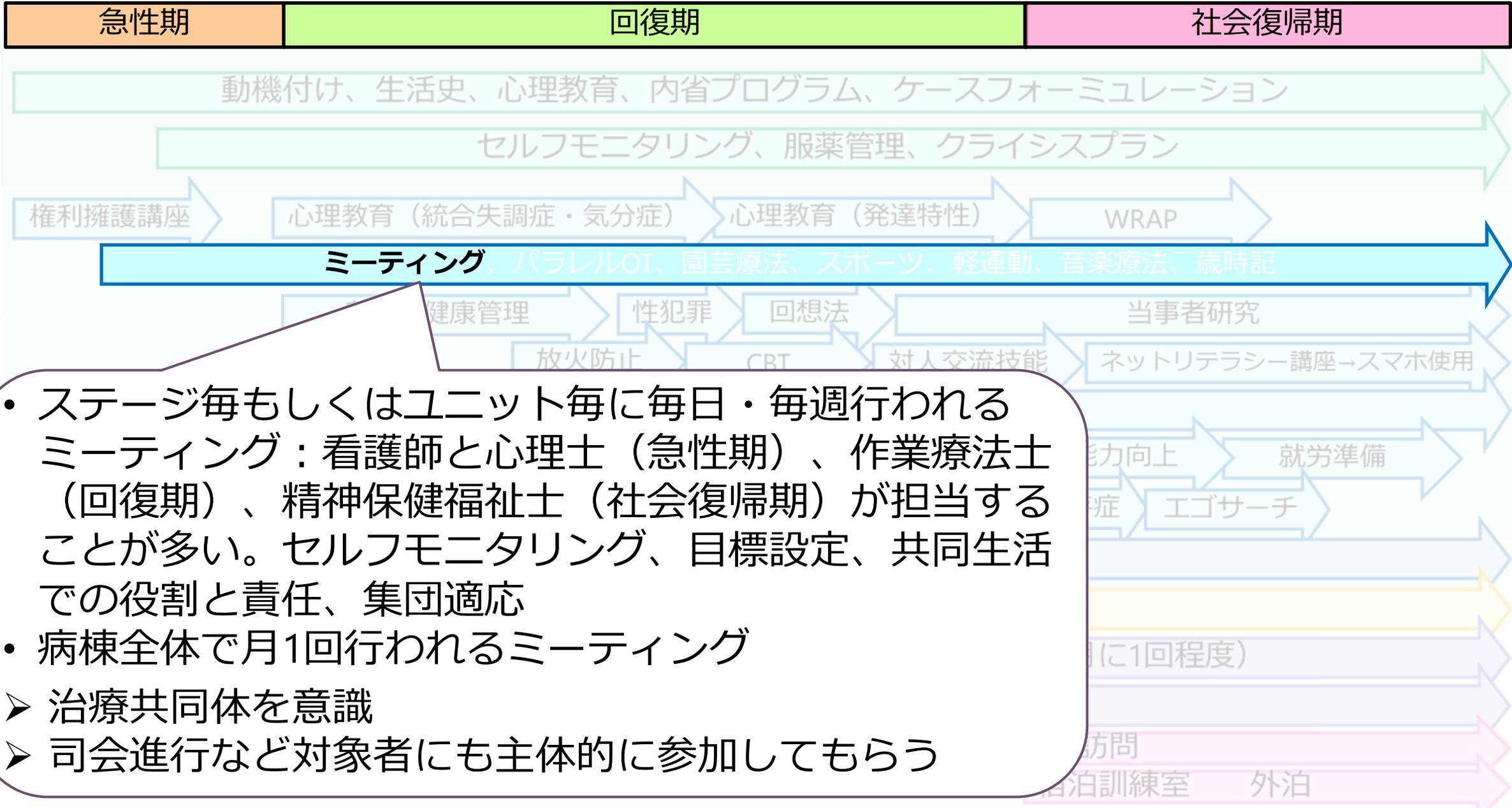
社会復帰講座

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接

治療プログラム

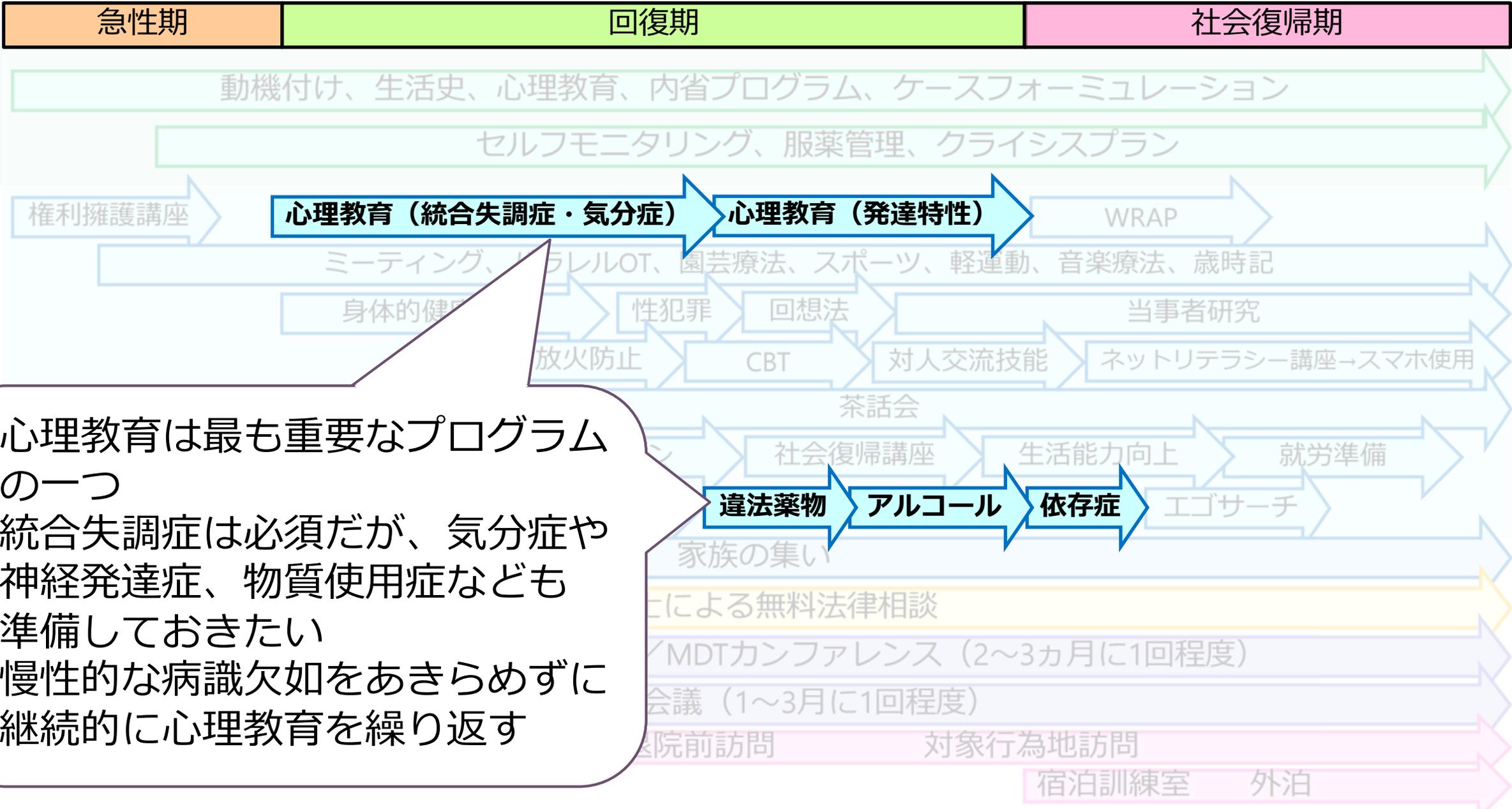


- ステージ毎もしくはユニット毎に毎日・毎週行われるミーティング：看護師と心理士（急性期）、作業療法士（回復期）、精神保健福祉士（社会復帰期）が担当することが多い。セルフモニタリング、目標設定、共同生活での役割と責任、集団適応
- 病棟全体で月1回行われるミーティング
 - 治療共同体を意識
 - 司会進行など対象者にも主体的に参加してもらう

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接
治療プログラム



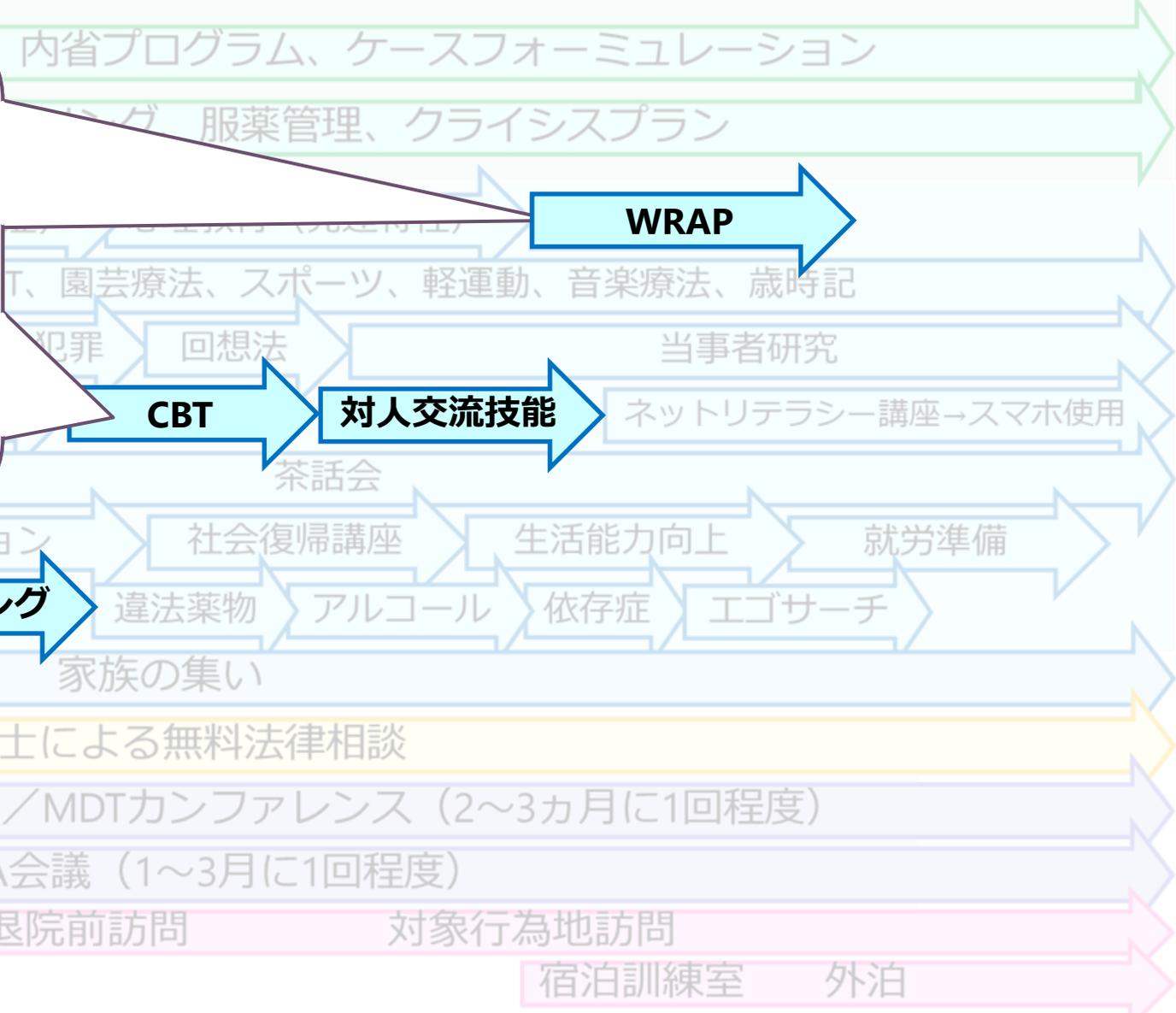
- 心理教育は最も重要なプログラムの一つ
- 統合失調症は必須だが、気分症や神経発達症、物質使用症なども準備しておきたい
- 慢性的な病識欠如をあきらめずに継続的に心理教育を繰り返す

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師）



- CBTは認知再構成法やSST、アンガーマネジメントなどの技法のほか、CBTp（精神病症状に対するCBT）がしばしば行われている。
- 類似したアプローチとしてメタ認知トレーニングやWRAP（元気回復行動プラン）なども



メタ認知トレーニング

WRAP

CBT

対人交流技能

外出

MDT退院前訪問

対象行為地訪問

宿泊訓練室

外泊

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

急性期

回復期

社会復帰期

- 認知リハビリテーションは最も重要なプログラムの一つ
- 心理教育や内省プログラムなど認知機能障害が重いままでは効果が発揮されないプログラムが多く、土台となる認知機能を回復させることが非常に重要
- 相乗効果となる薬物療法との組み合わせが大切
- NEAR、VCAT-J、FEP、コグトレなど対象者に合わせて

認知リハビリテーション

メタ認知トレーニング

違法薬物

アルコール

依存症

エゴサーチ

家族の集い

弁護士による無料法律相談

MDT面接（週1～月1回程度）／MDTカンファレンス（2～3カ月に1回程度）

CPA会議（1～3月に1回程度）

外出

MDT退院前訪問

対象行為地訪問

宿泊訓練室

外泊

コミュニケーション

スプラン

WRAP

音楽療法、歳時記

当事者研究

ネットリテラシー講座→スマホ使用

茶話会

社会復帰講座

生活能力向上

就労準備

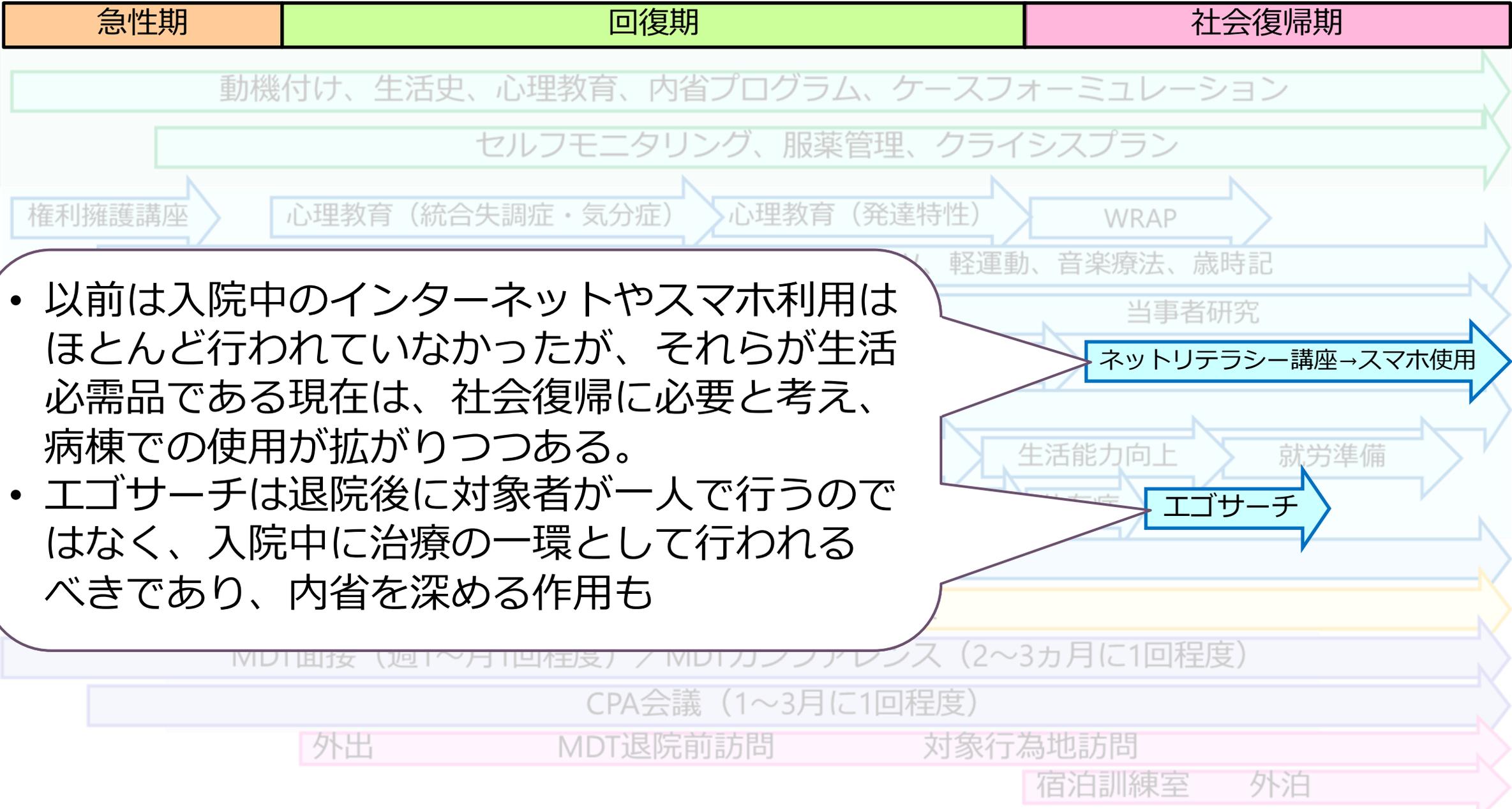
プログラム

（看護師・医師面接）

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接
治療プログラム



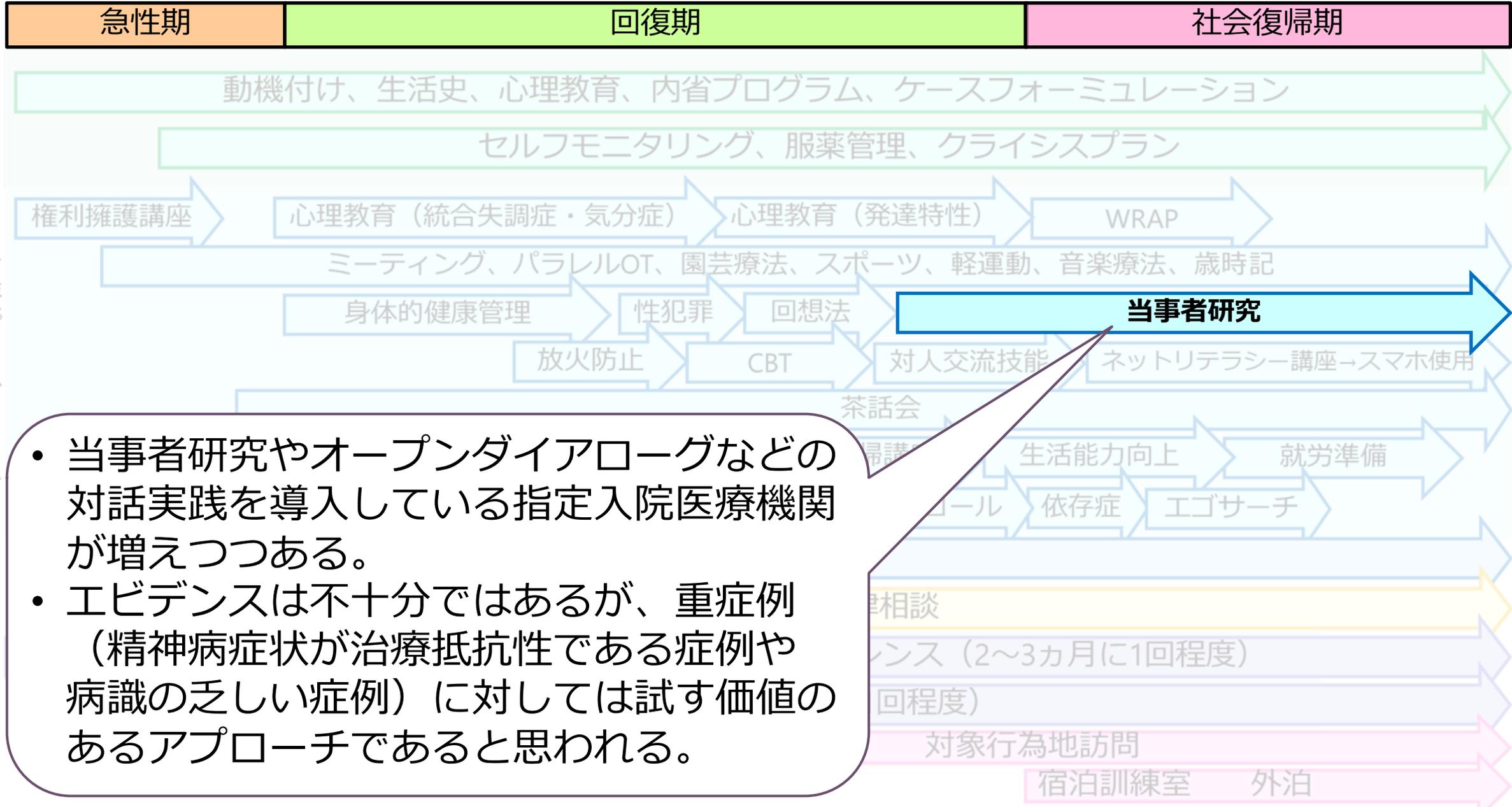
• 以前は入院中のインターネットやスマホ利用はほとんど行われていなかったが、それらが生活必需品である現在は、社会復帰に必要と考え、病棟での使用が拡がりつつある。

• エゴサーチは退院後に対象者が一人で行うのではなく、入院中に治療の一環として行われるべきであり、内省を深める作用も

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接
治療プログラム

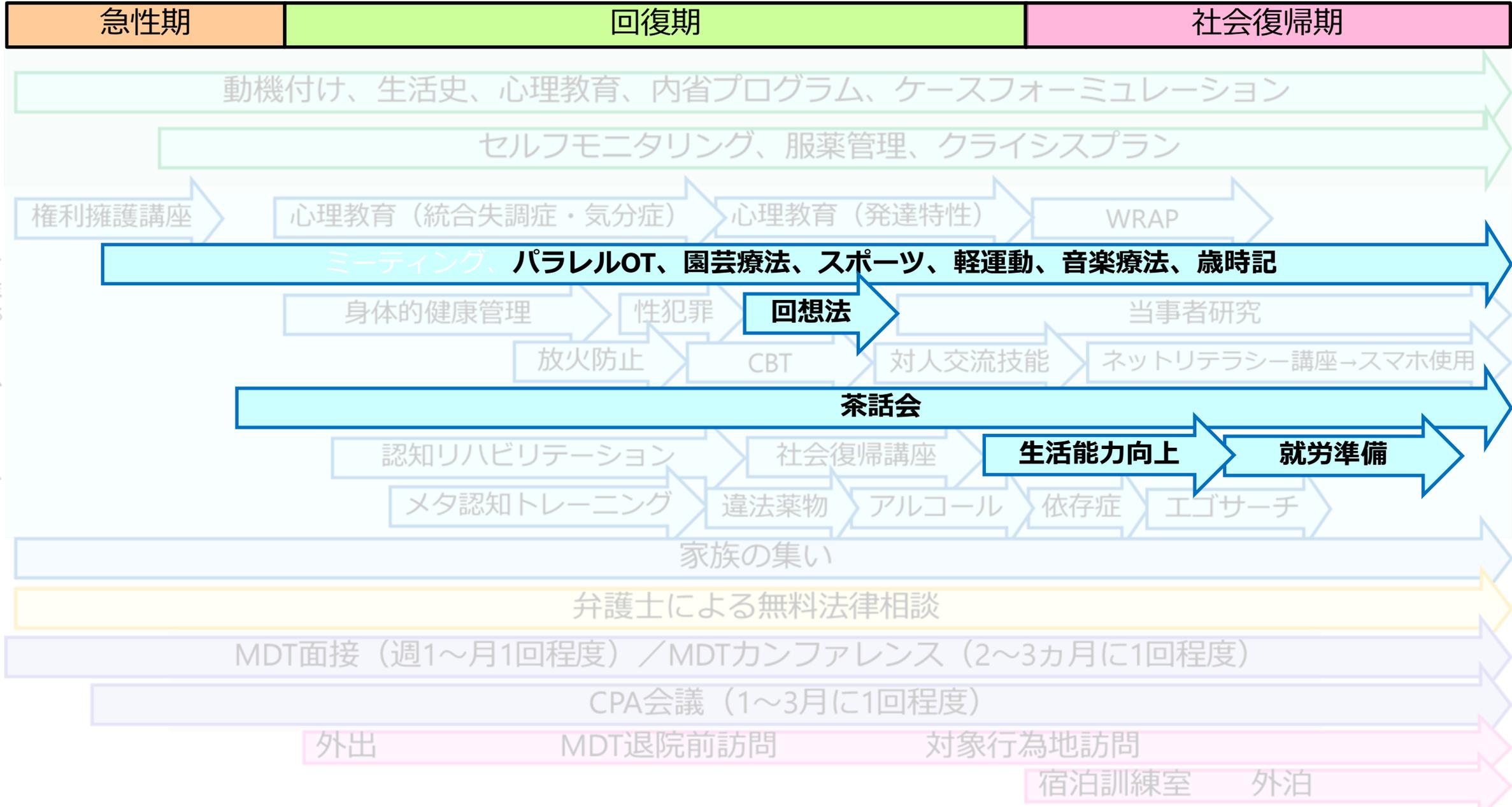


- 当事者研究やオープンダイアローグなどの対話実践を導入している指定入院医療機関が増えつつある。
- エビデンスは不十分ではあるが、重症例（精神病症状が治療抵抗性である症例や病識の乏しい症例）に対しては試す価値のあるアプローチであると思われる。

入院治療の流れ・プログラム (北大司法精神医療センターの場合)

(看護師・医師面接)

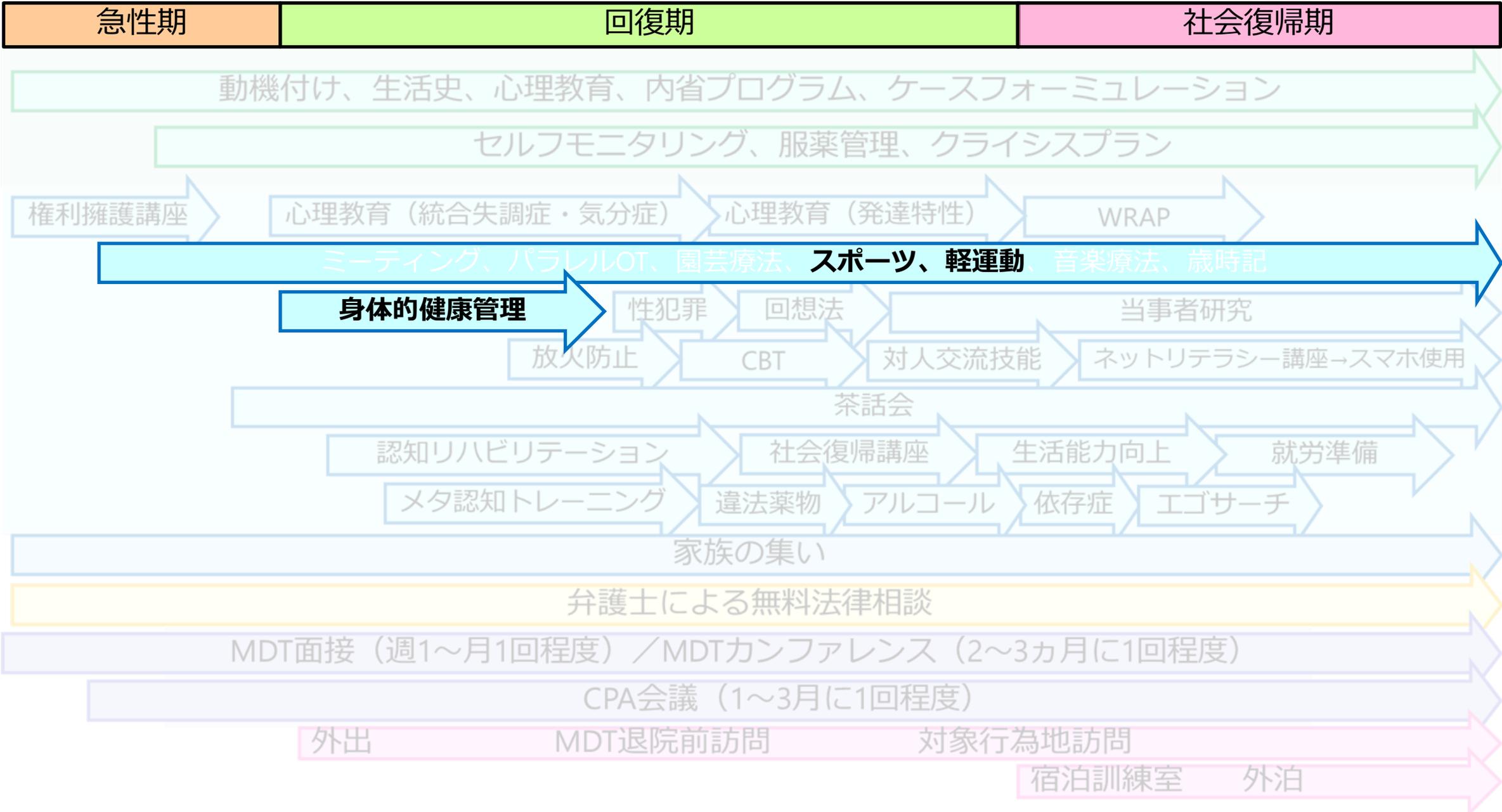
心理面接
治療プログラム



入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

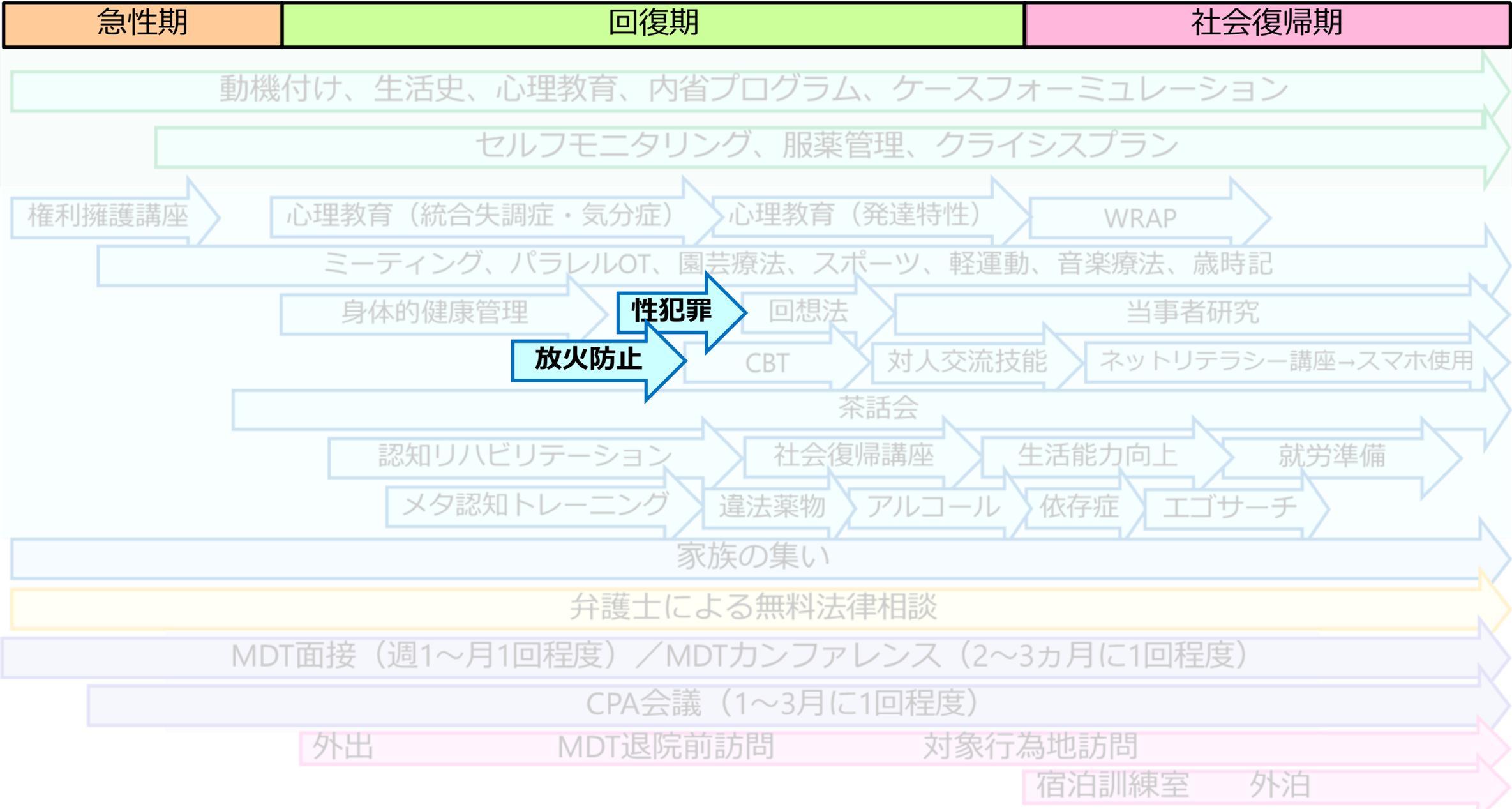
心理面接
治療プログラム



入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接
治療プログラム



入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

急性期

回復期

社会復帰期

（看護師・医師面接）

心理面接

治療プログラム

- 家族の半数弱は対象行為の直接の被害者
- ときには遺族であることも
- しかし、支援の手が届いていない現状
- 家族に対する心理教育も不十分
- 指定入院医療機関や保護観察所で家族の集いが実施されている地域もあるが、恒常的に開催されている施設は少ない

動機付け、生活中心心理教育、生活プログラム、ケースフォーミュレーション

心理、クライシスプラン

発達特性)

WRAP

ツール、軽運動、音楽療法、歳時記

当事者研究

対人交流技能

ネットリテラシー講座→スマホ使用

話会

帰講座

生活能力向上

就労準備

メタ認知トレーニング

法薬物

アルコール

依存症

エゴサーチ

家族の集い

弁護士による無料法律相談

MDT面接（週1～月1回程度）／MDTカンファレンス（2～3カ月に1回程度）

CPA会議（1～3月に1回程度）

外出

MDT退院前訪問

対象行為地訪問

宿泊訓練室

外泊

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

急性期

回復期

社会復帰期

- 外出泊も重要なプログラムの一つ
- 病状が安定しているにもかかわらず外出頻度が極端に少ないのは権利擁護に反する
- 月に2回程度の外出を確保する努力を
- 無断退去を防止しつつも、徐々に自由度・自律度を上げ、単独行動・遠隔監視を目指していく
- MDTでの自宅・家族訪問も積極的に
- 必要に応じて外出泊での対象行為地訪問
- 宿泊訓練室の利用を経て、外泊練習を反復

動機付け、生活中心心理教育、中省プログラム、ケースフォーミュレーション

イシスプラン

WRAP

動、音楽療法、歳時記

当事者研究

技能 ネットリテラシー講座→スマホ使用

生活能力向上

就労準備

依存症

エゴサーチ

MDT面接（週1～月1回程度）／MDT

ンズ（2～3カ月に1回程度）

CPA会議（1～3月1回程度）

外出

MDT退院前訪問

対象行為地訪問

宿泊訓練室

外泊

心理面接

治療プログラム

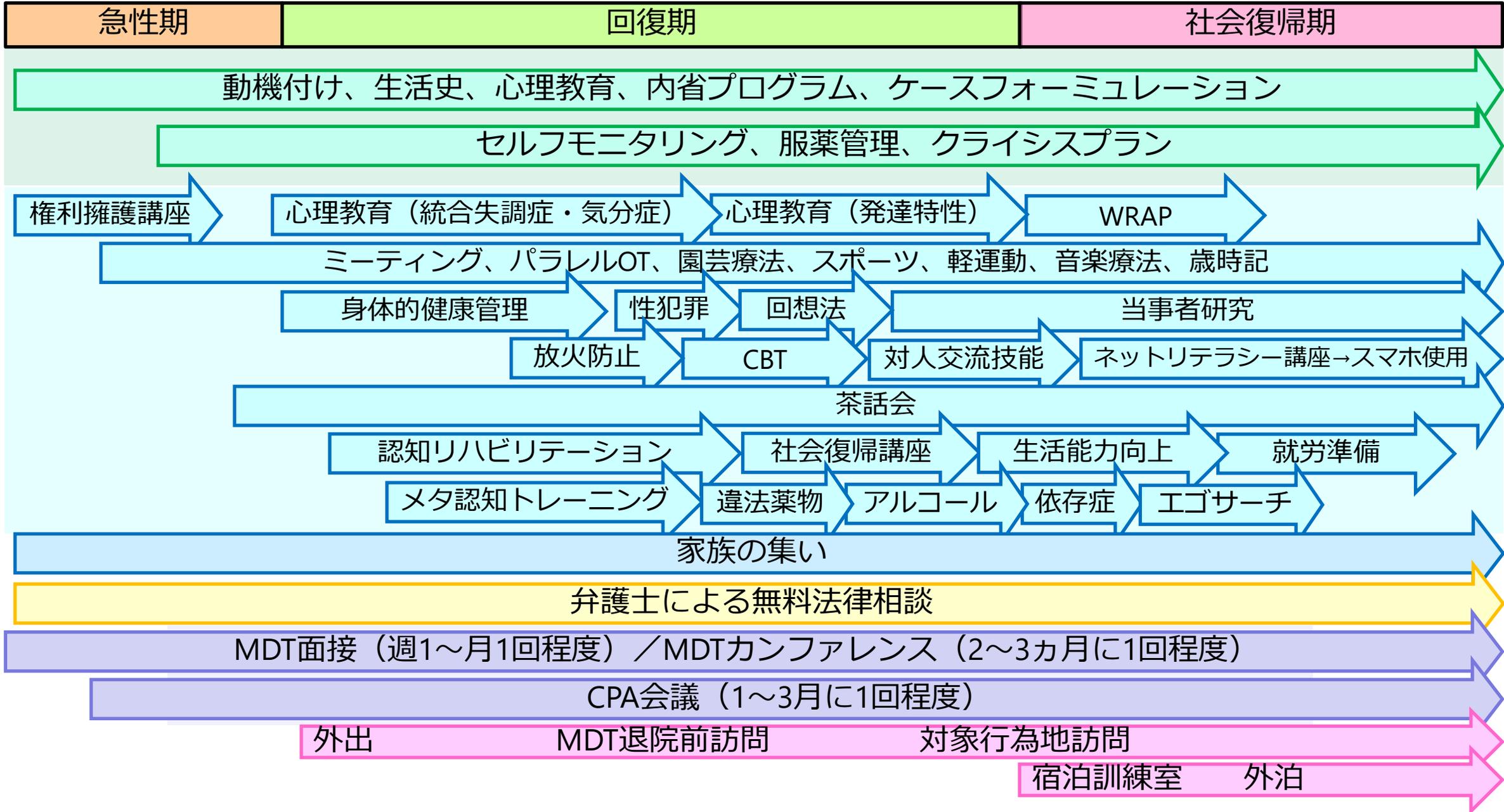
（看護師・医師面接）

入院治療の流れ・プログラム（北大司法精神医療センターの場合）

（看護師・医師面接）

心理面接

治療プログラム



週間スケジュール (北大司法精神医療センターの場合)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00-	 朝食						
8:00-	スタッフ申し送り						
9:00-	朝ミーティング						
9:00-	ラジオ体操						
10:00-	 パラレルOT・園芸	治療評価会議	心理教育 	パラレルOT・園芸 	スポーツ 	ラジオ体操	
11:00-	 軽運動		軽運動 	軽運動	卓球 (不定期) 		
12:00-	 昼食						
13:00-	認知リハ 	クール制プログラム (社会復帰講座、 CBT、WRAP、 MCT、物質使用症、 放火防止など)	身体的健康管理(隔月) 家族向け講座(月1) 無料法律相談(月1)	認知リハ 	クール制プログラム (回想法、就労準備、 生活能力向上、 権利擁護講座など)	映画鑑賞 (不定期) 	
14:00-			運営会議(月1) 家族座談会(月1)				
15:00-	SST 	ユニット ミーティング 	倫理会議(月1) 全体ミーティング(月1) 音楽療法(月3)	茶話会 	当事者研究		
16:00-	病棟カンファ	病棟カンファ	スタッフ学習会(月1)	病棟カンファ	病棟カンファ		
17:00-	 夕食						

治療プログラムの効果を最大化するために

治療プログラム（個別・集団）

個別の精神療法
（ケースフォーミュレーション、心理教育）

薬物療法
（ガイドラインは最低水準。クロザピンの積極的使用）

治療的雰囲気
（患者さんに安心感・信頼感を持ってもらえるか）

参考図書・ウェブサイト

1. 厚生労働省ホームページ＞心神喪失者等医療観察法＞6関連条文等＞各種ガイドライン等＞入院処遇ガイドライン

<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001080410.pdf>

2. 司法精神医療等人材養成研修会教材集／日本精神科病院協会、国立病院機構編

◆研修動画「心理教育」「認知行動療法の基本」「CBTp」「内省プログラム」「認知リハビリテーション」「対話実践」「家族支援」も是非ご視聴ください。